

ふれあい福祉センター

八潮市障害者就労支援センター

障害のある方の就労支援が始まりました。

◆地域で働いてみたいと思っっている障害のある方

◆自分の持っている能力を活かしたいと思っっている障害のある方

八潮市障害者就労支援センターは、そんなあなたのお手伝いをします。

利用できる方
①八潮市内にお住まいで障害のある方
・障害の種類や、「障害者手帳」の所持は問いません。

・支援を希望される方は、利用登録申請の手続きが必要になります。(登録申請書)を提出していただきます)

・登録には、印鑑、障害者手帳(お持ちの方のみ)が必要になります。

利用方法
・初めに利用登録の申請をしていただき、それぞれの相談内容に応じて、就労支援をさせていただきます。

・相談は無料です。ただし、職場見学や実習にかかる交通費、食事代などは自己負担になります。

①予約する 電話またはFAXで、相談日を予約します。(FAXでの予約の場合、必ず連絡先を記入してください)

②相談する センターの利用登録手続きをしていただき、相談をします。

③支援開始 ②で話し合った目標や課題をもとに、必要なお手伝いをします。

支援内容
・八潮市障害者就労支援センターは、障害を持つ方の「働くこと」に関する様々な相談に応じ、どのような支援が必要かを一緒に考え、お手伝いします。

◎ご家族の方や支援者の方へ

ご家族の方や支援者の方からのご相談にも応じます。

◎企業・事業主の方へ…ご協力をお願い…

・当センターでは、ノーマライゼーションの理念のもと、皆さんと一緒に支援の仕方や方法を考えていきます。支援方法にお悩みの際には、ぜひご相談ください。

・そのほか、障害者雇用に関する様々な制度や活用方法について、情報提供をさせていただきます。

・障害者の雇用、職場見学や職場実習などのご協力をお願いします。

『こんなときは、ぜひご相談ください』

・障害者の雇用を考えているが、採用経験がなくて不安である。

・他の従業員やお客様とのトラブルが心配である。

・なかなか仕事を覚えてもらえなくて困っている。

・うまくコミュニケーションを取れない。

・勤務時間を守ってもらえない。

・基本的なビジネスマナーを理解してもらえないか不安である。

・そのほか、障害者雇用に関する企業・事業主の方々の様々なお悩みや疑問についてもご相談に応じます。

『悩んだらまずはご相談ください。お電話お待ちしております』

障害福祉課 ☎996・2964
(6月20日以降)

八潮市知的障害者生活サポートセンター (鶴ヶ曾根1686-2) ☎998・3722

わがまちの自慢「ふるさとフェア」



5月21日、八潮市道県人会連絡協議会による「第14回八潮ふるさとフェア」が開催され、日差しもまれな日々が続く中、当日は天候にも恵まれ、たくさんの市民の方が来場しました。

それぞれ郷土自慢の物産が並べられた店先では、懐かしい郷土の方言が飛び交い、また、佐渡おけさや花笠おどり、民謡などの郷土の芸能も披露され、来場者は、各地の郷土の香りに浸っていました。

私たちの住むまちは私たちの手できれいに!



5月28日、「第17回ゴミゼロ運動」が市内全域で実施されました。

当日の天候は、あいにく小雨ではありましたが、私たちのまちをきれいにしようと町会・自治会や各団体の皆さんが、沿道や公園などに捨てられているごみを回収しました。

回収したごみは、資源ごみ約1.6トン、可燃ごみ約9.5トン、不燃ごみ約2.4トン、自転車551台などでした。

高齢者と障害者のスポーツの祭典



5月20日、エイトアリーナで、「第34回高齢者と障害者のスポーツの祭典」が開催されました。

エイトアリーナには、約1200人の市民の方が集い、広い体育館は熱気と応援の歓声でいっぱいでした。

高齢の方も障害を持った方も玉入れや借り物競争、パン食い競争などのスポーツを通じて、ふれあいを楽しみ、また八潮中学校吹奏楽部の演奏やよさこいソーランの演舞に拍手を送っていました。

魅力再発見! 川と路の風景



市民企画運営グループのコムComeでは、川に抱かれたまち「八潮」の魅力再発見し、八潮の景観について市民の方たちと一緒に考えようと、「見て考える八潮の景観」を企画、5月28日に皆で見えまわりました。

参加された皆さんは、普段ではなかなか気づかない公園や水辺の景観に、「こんなところが八潮にもあったのか」などと感想を漏らしていました。

いきいき やしお写真館